

## 令和4年度男女共同参画・共生社会推進統括官における 新規事業の実施状況について

### I ジェンダー平等ワーキンググループの開催

資料2-1

#### 1. 目的

総合計画 2021 改訂版アクションプランにおいて、女性の活躍推進ネットワーク会議の下部組織として「ジェンダー部会」を設置・運営し、本県の女性活躍促進に必要な施策を「働く女性の視点」から検討し、R5年事業としての予算化を目指す。

#### 2. 内容

県内企業で働く女性等 10 人によるワーキングを実施。

ワーキングで作成した「提言書」を用いて、令和4年度やまなし女性の活躍推進ネットワーク会議で提言を行った。

写真1（ワーキング）



写真2（ネットワーク会議における提言）



### II 山梨の未来を担う女性活躍促進セミナーの開催

資料2-2

#### 1. 目的

女性活躍社会の実現に向けて、県内外で活躍する県内出身の女性弁護士や経営者等を招き、仕事と子育てとの両立、キャリアアップなどをテーマにセミナー、パネルディスカッションを開催し、これからの将来の山梨を担う若年層（主に女子大学生や若手の女性社員）に対して、家庭と仕事の両立やキャリアデザインについて考える契機とする。

#### 2. 内容

若年層を中心とした県民を対象に、女性活躍のロールモデルである県内外で活躍する女性と、県内女性大学生とのパネルディスカッションを開催する（2月19日(日)実施予定。).

### Ⅲ 若年層に向けた啓発事業

#### 1. 目的

固定的役割分担意識や、性差に関する偏見や固定観念、無意識の思い込み（アンコンシヤスバイアス）は、長い時間をかけて人々の意識の中に形成されるもので、男女共同参画の実現に向けた大きな障壁のひとつである。

これらの意識や固定観念は家庭生活や幼少期から知らず知らずのうちに植え付けられていくものであるため、年代や発達段階に応じた意識啓発を行う。

#### 2. 内容

##### ① 小学生に向けた啓発

##### 資料 2-3

###### ◆小学生図画コンクール開催

子どもの頃からの男女共同参画に対する意識付け及び理解促進を図るため、県内小学生に対し、男女共同参画をテーマとした図画を募集し、優秀作品を表彰した。

【部 門】小学生高学年の部、低学年の部 ※応募総数 28 校 125 点

【入賞区分】部門ごと、知事賞（1 名）、教育長賞（1 名）、入賞（2 名）、佳作（2 名）の計 12 名

【表 彰 式】入賞作品は「県民の日記念行事」（R4.11.20）において表彰および展示。なお、入賞作品は今後の男女共同参画の啓発作品として展示、活用していく。

写真 1 表彰式



写真 2 展示の様子



##### ② 中学生に向けた啓発

###### ◆中学生啓発パンフレット作成

中学生は、思春期に入り様々な葛藤の中で自ら生き方を模索し始める時期であることから、性別によって役割や生き方等を決めたり、無意識の思い込みにより、一人ひとりの個性が生かされないことがないように、自分の進路を考える中学生時代に、性別にとらわれず、夢に向かって進むことの大切さが実感できるようなパンフレットを作成する。県内中学生に配布（作成中：3月配布予定。）

### ③ 高校生以上向け事業

#### 動画

#### ◆若者の性暴力被害予防啓発事業

「性暴力の予防啓発」をテーマとして、効果的な啓発を県と大学生が協働で実施。大学生がグループで啓発動画の作成をし、報告会で県民に向け発表。また、県の公式 YouTube チャンネルにも動画を掲載した。

写真1 (動画作成のためのワーク)



写真2 (発表会の様子)



## IV 交流サロン

### 資料2-4

#### 1. 目的

男女共同参画先進県や共生社会の実現を目指し、県と関係団体が緊密に連携するとともに広く県民の男女共同参画推進・共生社会推進に関する気運を高めるため、定期的に開催する。

県が委嘱した男女共同参画・共生社会推進専門人材(統括アドバイザー)を中心に、特定のテーマに関して、その都度公募する参加者が意見交換やワークショップなどを実施。その場で出たアイデアや具体的な提案については、統括アドバイザーの助言を受けながら、団体等がそれをもとに、自ら取り組みを進めたり、施策立案の参考としていく。

#### 2. 内容

萩原なつ子統括アドバイザーを講師に、各市町村長や、各市町村男女共同参画推進委員、地域で活動する女性団体、学生、若者、各業界団体等に対して計41回実施(R5.1末時点)。

写真1 ワークショップ



写真2 ワークショップ





## V 地域活動活性化促進事業

### 資料 2-5

#### 1. 目的

峡南地域において、男女共同参画の観点による自主的な実践活動を行うグループや、グループ活動を強化できる「キーパーソン」となる人材を養成し、県民の意欲と能力に応じた様々な分野への積極的な参画と活動による地域の活性化を支援する。

#### 2. 内容

応募要領により応募した者または峡南地域の市町村等から推薦があった県民の中から、10名程度を選考。コーディネーターである広岡守穂氏（中央大学名誉教授）の講義及びコーディネートを受けながら、参加者が小グループに分かれ調査研究を自主的に進め、実践活動を行った。（全6回）

写真1 講義



写真2 ワーク



## VI DV被害相談促進動画の作成・放映

### 動画

#### 1. 目的

DV被害者や周囲の人がDV被害に気づき、相談行動することで適切な支援につなげる契機とする。

#### 2. 内容

DV被害者相談促進動画を作成し、女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせて、11月にYoutubeで動画広告及び動画を公開した。

動画は令和5年1月末現在で視聴回数2,908回となっている。

## VII 性の多様性理解促進事業

### 1. 目的

性的指向や性自認に関わらず誰もが個性と能力を発揮できる、多様性を尊重する社会を実現するため、理解の促進と普及啓発を図る取組を行う。

### 2. 内容

職場、学校及び社会全体に向け、LGBTQ+等の性的マイノリティが抱える課題が、県民一人ひとりにとって身近な問題だと認識するとともに、正しい知識と具体的な対応について学ぶ機会を提供した。

#### ①学校向け

##### (1) 教員向け研修会の開催

中学校の生徒指導担当者を対象にLGBTQ+について理解を深めるための研修を実施。

##### (2) スクールカウンセラー（SC）向け研修会の開催

学校配置のSCを対象に、LGBTQ+について理解を深めるための研修を実施。

##### (3) 高校生向けパンフレットの作成、配布

高校生向けにLGBTQ+について理解を深めるためのパンフレットを作成し配布する。  
(作成中：3月配布予定)

#### ②職場向け

##### (1) 企業向け研修会の開催

企業の人事担当者等を対象に、企業が性の多様性に取り組む必要性と具体的な取り組み内容について学ぶ研修を実施。

##### (2) 職場向けパンフレットの作成

企業等が活用できるよう、職場における留意や配慮すべき点などLGBTQ+の方との接し方を理解するためのデータパンフレットを作成する。  
(作成中：県ホームページ等において掲載予定)

写真1（学校向け研修会）



写真2（企業向け研修会）

**LGBTの基礎知識と社内対応について**

2020年6月(中小企業では2022年4月)から2021年に際するハラスメント、アウティング防止策を推進義務とするパワハラ防止法が施行され、LGBTQ+への配慮の機軸は欠かせないものとなっています。そこで、セクシュアリティの基礎知識、LGBTQ+の取組内容や進め方などを、企業におけるダイバーシティ推進について考えます。

■SOGI(Sexual Orientation(性的指向) and Gender Identity(性自認))  
異文字多数の用語集  
■アウティング:本人の同意がないうちに、第三者にその人のセクシュアリティについて話してしまうこと

～内容～

- LGBTに関する基礎知識
- 当事者が困っていること
- 先進企業の取組紹介
- 当事者からの声

日時：2022年8月26日(金) 14:00～15:40 (開場は13:30)  
場所：山梨県庁防災新館409会議室 (甲府市丸の内1-6-1)  
定員：50名程度 (事前申込制・先着順)  
オンライン：研修会の様子を県公式YouTubeで録画配信します。  
限定公開のため、事前申込みが必要です。  
▶配信期間：9月1日(木)～9月14日(水)

【講師】 原成 和昭 氏 (株式会社アウト・ジャパン代表取締役) ほか 当事者の声

1974年東京都生まれ。関西大学卒業。  
約20年にわたり、新卒採用コンサルティングを行うベンチャー企業にて数多くの企業の採用活動に携わる。2016年にLGBT採用支援を行う新会社の立ち上げに関わることで、企業にとってLGBTに有利な働き方について最先端でいるかを実感。「より多くの企業様にLGBTダイバーシティを促したい」と、株式会社アウト・ジャパンへ入社。  
現在は大手企業から中小・ベンチャー企業まで幅広くLGBTダイバーシティのコンサルティングに携わる。